

HCMC Chronicle

ホーチミン日本人学校

川上 裕明

お正月はテト(Tết Nguyên Đán=節元旦)

ホーチミンのお正月、例えるなら 1月1日は「あっさり醤油ラーメン」、2月17日のテトは「味玉のせ濃厚とんこつチャーシュー麺」といったところでしょうか。あるいは、1月1日お正月を「マックツイスト」、テトを「フロントサイドダブルコーク

1440」と考えると、その規模や派手さや期待感の違いが非常にわかりやすい(!?)かと思います。

ベトナムのテトは大いに盛り上がり、重要視される最大の年中行事でした。日本のお正月がそうであるように、飾りや料理や習慣などから、ベトナムの人が歴史や文化を大切にする姿を見ることができました。まずは、ホーチミン日本人学校スタッフ入魂の玄関テト飾りをご紹介します。



鉢植えトウキビ。「実が詰まっている様子は子孫繁栄」の象徴。年中収穫できる

赤い吊連句は中華圏でも見ますね。「Tết」の他に「对我生財」「生意興隆」など、思い思いの言葉が並ぶ

ハノイなど北部はピンクの梅の花を、ホーチミンでは黄色のホアマイ（黄色梅）を飾るのが定番。ピンクは平和や健康を表すと言われ、黄色は富と繁栄の象徴

魔除けの爆竹（模型）

ホアマイ

街は黄色い花でいっぱい。これは菊で、テトに満開になる雰囲気

「五行」にちなんで5種類の果物。ここでは、スイカ、リンゴ、カスタードアップル、バナナ、ココナッツ（模型）

「バンチュン」は、餅米と緑豆と豚肉をドン（バナナの葉）で包んだちまき。8~12時間蒸すのだとか。丸い筒状の方は「バンテツ」。どちらもおいしい

大晦日 2月16日の夜、家でんびりしているとベトナムの知人から電話があり、「ベトナムのおせち料理をもって行ってあげます！」と!!たくさんいただいた料理のどれも感動的においしく、しかも Nep Moi(ベトナムの米焼酎)とよく合う!

Bánh chưng(右写真→)~四角い形は大地を表し安定の意味、Thịt kho trứng(豚角煮と卵)~豚肉は富の象徴、Giò lụa(ベトナム風ハム)~内外安泰、福満ちる、Canh khổ Qua Hàm(ゴーヤスープ)~「困難・過ぎる」のしゃれ、Dưa món(切り干し大根やニンジンなどの漬け物)~なます的さっぱり感で胃にやさしい





テトが近くなると、モールやスーパー、街角の小売店にも、贈り物用に飾られた盛りカゴが並びます。



黄色い花が街中にあふれ、まさに「新春」(一年中最暑いけど)。これは 9 月 23 日公園の花市。



グエン・フエ通りは、市庁舎前からサイゴン川まで 670m の歩行者天国。テト期間は「花通り」になる。



エルメスやディオールなど高級店が並ぶユニオンスクエアは、オブジェもひときわおしゃれです。



タオダン公園でテト限定のテーマパーク開催。オープンの日には、付近の道路が大渋滞でした。



我が家前装飾は、2CV やバスパ、モビレットなどフランス製クラシックカー&バイク。車好き歓喜。



元日朝早くの市庁舎前。アオザイを着た人が写真を撮ったりなど、みんなのんびり過ごしていました。



元日昼、我が家前でけたたましい音。獅子舞チームがおよそ 1 時間パフォーマンスしてくれました。

元日は里帰りや旅行のため車もバイクも少なく、アプリ「IQ Air」で計測した空気質指数は 30 ~ 40 と帯広並みのきれいさでした！ 150 を超えたときは学校の屋外活動を禁止にしています